

# 幌加内町「ゼロカーボン」プロジェクト 第2ステージへ

**幌加内町「ゼロカーボンシティ推進実証実験」協力事業が始まります。**

『北海道内 最深積雪記録(324cm)の記録を持つ豪雪地帯である幌加内町はゼロカーボンシティの実現に向けて、耐雪タイプの垂直型両面ソーラーパネルを官民連携による、実証実験に協力します』

※第1ステージ そば殻を活用したバイオコークス

## 【経緯・背景など】

幌加内町；株式会社ユニヴァ・ジャパン（本社 東京都 資本金1億円 姥谷芳昭社長）と包括連携協定を締結（R4.9.4）。



幌加内町は、ユニヴァ・ジャパンが、本年11月21日から開始する『耐雪タイプの垂直型両面ソーラーパネルでの実証実験』に協力します。

幌加内町は、北海道内の最深積雪記録を2018年2月25日に更新するなど、道内一の豪雪寒冷地帯であり、これまで太陽光での再生可能エネルギー導入には、至っていない状況。

一方、今回の実験に向けて、通常の平置き型の太陽光パネルではなく、垂直型の両面パネルタイプのため、パネル面に雪が積ることが避けられ、かつ、垂直メリットとして雪面の反射光での発電も見込めることから、実証試験の適地としての協議を進めてきたもの。

## ※垂直型両面パネル及び垂直架台

ドイツに本社がある Suichoku-ソーラー社(ウーヴェ・リーブシャー社長)製を使用。  
施工は、札幌市に本社があり 800 基以上の太陽光基地の施工実績がある  
株式会社ノースエナジー(小坂榮社長)が施工。  
発電出力は 8.6KW

### ◆発電した電力

発電した電力は全て幌加内町農業集落排水処理施設で活用する予定。

垂直パネルは全長約20mとなるため、除雪エリアと非除雪エリアの発電、パネル耐久性などの実験を通じて、豪雪寒冷地帯でも再エネ発電が可能な太陽光システムの構築を目指すユニヴァ・ジャパンとコラボし、ゼロカーボンプロジェクトの推進を目指すもの。

(垂直型ソーラーパネルのイメージ)



Picture rights: Next2Sun GmbH

事業実施主体:株式会社 ユニヴァ・ジャパン  
共同実験者:Suichoku Solar 株式会社  
施工事業者:株式会社 ノースエナジー  
設置用地、除雪提供:幌加内町  
電力供給施設:幌加内町農業集落排水処理施設

本実験を受けて、道内各地の豪雪地帯でのゼロカーボン施策に、少しでも寄与することを期待するもの。

お問合せ先  
幌加内町 地域振興室 室長 新江(あらえ)  
TEL 0165-35-2121(代表)